

【東京都住宅供給公社】の活用戦略を踏まえた課題と今後の方向性

活用戦略で定めた「団体の将来像」

都政の重要課題の解決に貢献する住宅事業のプロフェッショナル集団

重要課題
①

子育て支援や高齢化など、都政が抱える課題の解決に向けて、公社の持つアセットや人材を活用し、多世代共生のコミュニティの実現、高齢者支援サービスの充実をどのように進めていくか

検討の状況や今後の方向性

■ 多世代共生のコミュニティ

- 優先申込 ファミリーウィーク(子育て・新婚等) H22.11～ 2,808件
- 家賃割引 ステップ35割(若年) H27. 9～ 211件
- こどもすくすく割(ひとり親) H30.11～ 27件
- ペアさぼ(新婚) H31. 4～ 24件^{〔※優先申込含む〕}
- 子育て施設 80施設 → 保育所等 中野、田端(ともにR2.4予定)
- 大学連携 入居学生が自治会活動に参加、若者視点・発想のリノベ



ママ友の交流(向原キッズスペース)

■ 高齢者支援サービス

- 優先申込 シルバーウィーク H21.4～ 1,650件
- 親子近居サポート H29.4～ 172件
- 高齢者施設 30施設 → 特養等 向原6月、中野広町7月、茗荷谷R2.3予定
- 高齢者住宅 5住宅 → サ高住 世田谷大蔵(計画中)
- 買い物サポートや家事代行サービスの拠点整備(あき店舗・オープンスペース活用)



地域包括ケア拠点(平尾サ高住)

【東京都住宅供給公社】の課題と今後の方向性

重要課題
②

公社住宅ストックの再編を通じた都政課題への貢献と経営基盤の強化

検討の状況や今後の方向性

■ 公社住宅ストックの再編

○公社住宅約7万2千戸。築40年以上が約6割
これまで約7千戸の建替えを実施



- 地域ごとの賃貸住宅需要の動向等を見据えながら、**ストックの再編を加速**
- 多様な世代・世帯**が暮らし、**地域包括ケア**や**地域防災の拠点**となる団地として再生
- 高断熱、省エネ機器、太陽光パネル、緑の創出など**環境にやさしい**住宅づくり
- 事業に必要な資金は社債など市場から調達

■ JKKの役割や取組のアピール

- オウンドメディアと外部メディアの効果的な活用、JKKホームページへの顧客誘導
- 『子育て・高齢者にやさしい』、『ずっと安心して住み続けられる』のPR・ブランディング

